

# 25journal

society&business Tokyo25 journal 執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## 多彩な職業の話を選択の指標に 東海大菅生中等部キャリア教育

政夫の甥。 「アンコンシャスバイアス」を  
タイの現役 テーマに語る江藤さん



東海大学菅生高等学校  
校中等部(あきる野市  
菅生)で12月4日、キ  
ャリア教育「夢育て講  
座」が全生徒208人  
を対象に行われた。積  
極的に将来について考  
え、職業観の芽を育む  
のが目的。起業家精神  
を培う狙いもある。  
経産省役人、弁護士、  
医師、旅行会社、ロボ  
ット工学、コンビニ運  
営、C A、起業家、プ  
ロボクサーで活躍する  
8人が講師を務めた。  
講師たちの話は40分間  
ずつ2講座行われ、生  
徒たちは興味を持った  
業種の2人から話を聞  
いた。  
プロボク  
サーの大場  
綜さんは、  
元世界フラ  
イ級王者で  
5度防衛を  
果たし、今  
も最強ボク  
サーと評価  
される大場  
政夫の甥。  
「アンコンシャスバイアス」を  
テーマに語る江藤さん

「アンコンシャスバイアス」をテーマに語った。アンコンシャスバイアスは無意識にこうだと思ってしまう。ある属性に対する先入観や固定観念で、「みんなそうだ」と思い込むステレオタイプ、周りの言動に合わせたくなる同調バイアス、自分を過小評価するインポスター症候群、自分の悪いところばかり気になるネガティブバイアス、ジェンダーに対する決めつけがあるジェンダーバイアスを解説。  
「決めつけない、だけれど何かを比べない、自分の可能性を信じよう」と提案。「気づこうとすることが大切で、もの見方を改めてみると、未来が変わるかもしれない」と呼びかけた。



ミット打ちを体験する生徒

菅生学園理事長の島田幸成さんは講座を回り、「多彩な職業の方々から話を聞き、生徒には良い刺激になったと思う。大場綜さんに教わるスパークリングでは、目をキラキラ輝かせてパンチを繰り出す生徒の姿が大変印象的だった」と話した。

このうち江藤さんは「アンコンシャスバイアス」をテーマに語った。アンコンシャスバイアスは無意識にこうだと思ってしまう。ある属性に対する先入観や固定観念で、「みんなそうだ」と思い込むステレオタイプ、周りの言動に合わせたくなる同調バイアス、自分を過小評価するインポスター症候群、自分の悪いところばかり気になるネガティブバイアス、ジェンダーに対する決めつけがあるジェンダーバイアスを解説。

「決めつけない、だけれど何かを比べない、自分の可能性を信じよう」と提案。「気づこうとすることが大切で、もの見方を改めてみると、未来が変わるかもしれない」と呼びかけた。

「アンコンシャスバイアス」をテーマに語った。アンコンシャスバイアスは無意識にこうだと思ってしまう。ある属性に対する先入観や固定観念で、「みんなそうだ」と思い込むステレオタイプ、周りの言動に合わせたくなる同調バイアス、自分を過小評価するインポスター症候群、自分の悪いところばかり気になるネガティブバイアス、ジェンダーに対する決めつけがあるジェンダーバイアスを解説。

## 本格中華の質と味を大衆中華で提供 「ぼん天瑞穂本店」新装オープン



明るく広々とした店内。調理をライブ感覚で見られる

中華料理店「ぼん天瑞穂本店」(瑞穂町石畑、042-568-1091)が11月22日、新装オープンした。「看板のデカ盛りメニューがまた食べられる」と常連客からは喜んでいる。

多摩都市モノレールが、上北台駅から箱根ヶ崎駅まで延伸する道路拡幅工事のため、5月から休業を強いられた。ファンが待ち望んでくれたことに店主の本村雅彦さんは「感謝しかない」と話す。

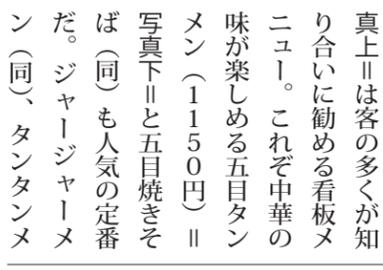


以前は福生に店を構えていた。本格中華が食べられ、宴会や法事もできるとあって広く利用されてきた。だが、長引くデフレ不況の中で高級店の敷居は高くなり、本村さんは22年前に瑞穂町に出店。大衆志向の店として瑞穂

で再出発した。福生店は2年後に閉店し、瑞穂店に注力した。本村さんは「本格中華の大衆店として知られるようになり、ラーメン店の多い新青梅街道でも指折りの人気店になった。

「第74回福生七夕まつり」を振り返る動画を市公式YouTubeチャンネル「福生市メディアラボ」で公開した。制作は福生市秘書広報課広報広聴係。

福生市が11月27日、演も話題を集め、約38万5800人の人出でにぎわった。原さんは七夕まつりを原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。

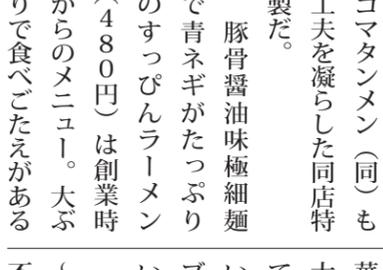


デカ盛りの生姜焼き丼(1200円)は写真上は客の多くが知り合いに勧める看板メニュー。これぞ中華の味が楽しめる五目タンメン(1150円)は写真下と五目焼きそば(同)も人気の定番だ。ジャージャーメン(同)、タンタンメン(1040円)、黒ゴマタンメン(同)も工夫を凝らした同店特製だ。

く、81ある座席、動線、厨房が一目で見渡せ、調理をライブ感覚で見られるのも楽しい。メニューは一品1品がポスターのように貼りだされ、街道からもよく見える。

「第74回福生七夕まつり」を振り返る動画を市公式YouTubeチャンネル「福生市メディアラボ」で公開した。制作は福生市秘書広報課広報広聴係。

原さんは七夕まつりを原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。



豚骨醤油味極細麺で青ネギがたっぷりすっぴんラーメン(480円)は創業時からメニュー。大ぶりて食べごたえがある

本村さんは「本格中華の質と味をそのまま大衆中華として提供している。皆さんにはおいしい中華をリーズナブルに楽しんでほしい」と日々厨房に立つ。営業時間は当面11時〜22時(LO21時)。不定休。駐車場45台。

インタビューに答える原さん

オープニングセレモニーのメインキャスターを務めたほか、民謡パレードの先頭に立って踊りを披露し、拍手喝采を浴びた。

原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。

原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。

原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。

原さんと一緒に振り返る内容。前半は、原さんの七夕まつり当日に抱いた思いをはじめ、七夕まつりの魅力や次の七夕まつりに向けた思いを自身の夢とともに語っている。後半はイベント、竹飾り、露店などの映像が次々と流れ、七夕まつりの躍動感が伝わるものになっている。